

輝き続ける 世界都市横浜の実現に向けて

横浜市 都心臨海部再生マスタープラン(仮称) 概要版

皆様のご意見を募集します！

〔募集期間〕 平成26年8月5日（火）から平成26年9月5日（金）まで

〔応募方法〕 この冊子に付属のハガキほか

※本編は、都市整備局ホームページで公開しています（最終ページ参照）



人口減少・超高齢社会の到来、地球温暖化や災害に強いまちづくりへの対応など、横浜市を取り巻く状況が大きく変化している中で、横浜市の更なる成長・発展を図っていくためには、横浜都心臨海部の機能強化が必要不可欠です。そこで、中長期を見据えた『横浜市 都心臨海部再生マスタープラン（仮称）』を策定します。

なお、目標年次は2050年（第一段階は2025年）とします。

1. 都心臨海部とは

都心臨海部の範囲

従来の横浜都心である横浜駅周辺地区、みなとみらい21地区、関内・関外地区に、山下ふ頭周辺地区と東神奈川臨海部周辺地区を加えた5地区を範囲とします。

■ 横浜駅周辺地区

日本有数のターミナル駅である横浜駅を中心とする地区であり、国際都市の玄関口にふさわしいまちづくりが進められている。



■ みなとみらい21地区

横浜の自立性の強化等を目的に整備された新しい街であり、業務・商業機能、MICE拠点等が立地し、多くの人々が来訪する。



■ 関内・関外地区

開港の歴史が残る地区であるが、近年、業務・商業機能が相対的に低下しつつあり、課題解決に向けたまちづくりが進められている。



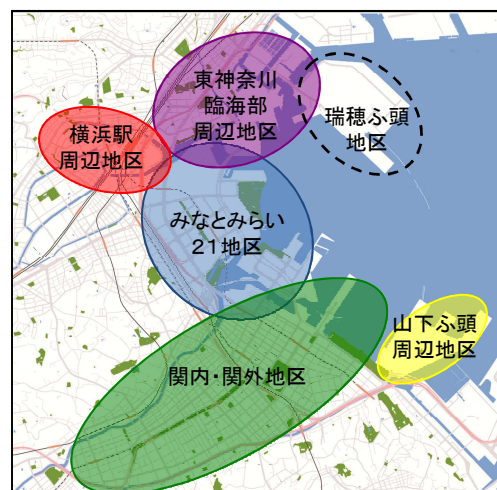
■ 山下ふ頭周辺地区

主に東南アジア等への輸出品を扱うふ頭であるが、改訂中の港湾計画では、都心機能の強化に向けた再開発の方向性が示されている。



■ 東神奈川臨海部周辺地区

中央卸売市場が立地しており、山内ふ頭周辺地区や、東神奈川駅周辺などで再開発や面整備の検討が進められている。



※ 瑞穂ふ頭については、都心臨海部に隣接し広大な面積を有しますが、米軍と返還合意されていないため、返還後の活用については、今後検討します。

<都心臨海部の統計データ>

	都心臨海部	割合 (都心臨海部 /横浜市)
面積	約942ha	約2.2%
人口	約11万人	約3.0%
外国人人口	約7千人	約13.2%
従業員数	約35万人	約22.6%
事業所数	約1万8千社	約14.6%
年間商品 販売額	約3.0兆円	約30.6%

都心臨海部のこれまでのまちづくり

■ 「進取の気概」を持った横浜らしいまちづくり

1859年の開港以来、海外諸国との交易の中心地として、外国人居留地の整備、鉄道、ガス灯など当時の最先端の技術の導入による我が国の先端をいくまちづくりが行われてきました。

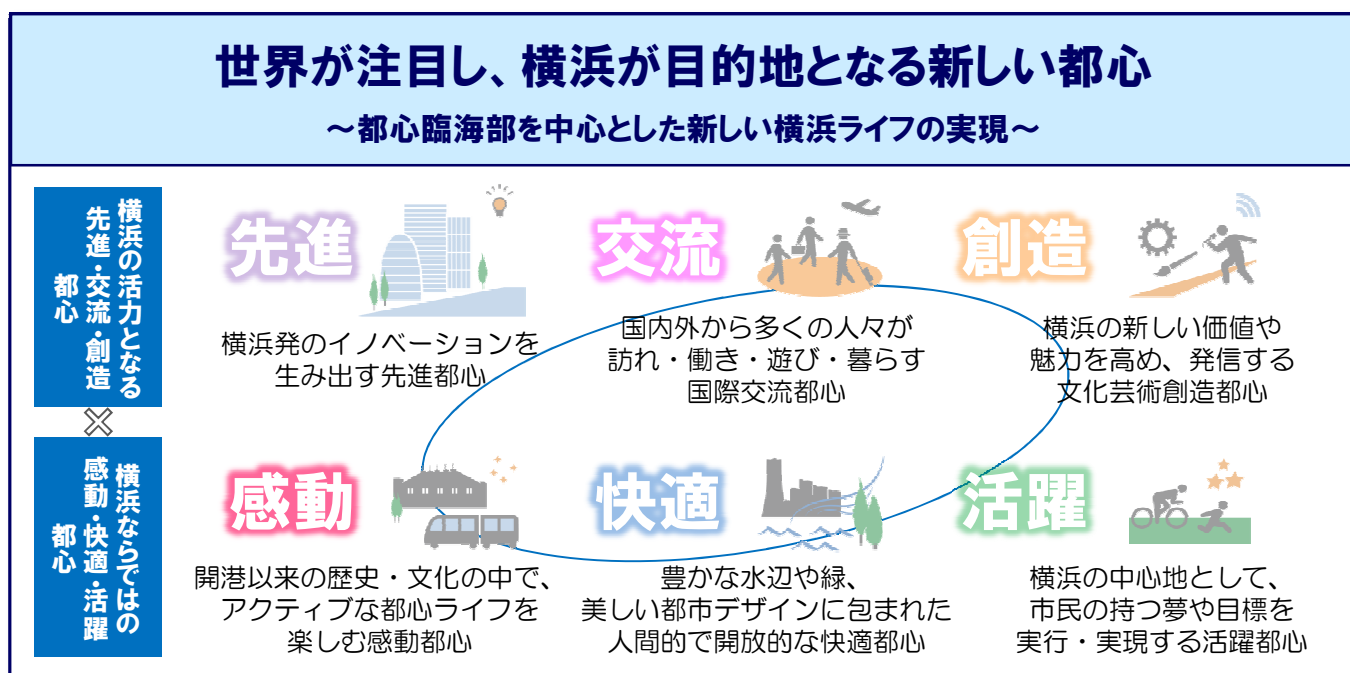
高度経済成長期からは、みなとみらい21地区の整備など6大事業の推進とともに、都市デザイン手法の導入や、文化芸術活動による都市の活性化など、時代を先駆けるまちづくりが進められてきています。

開港以来の歴史をしのばせる街路景観



2. 都心臨海部の将来像・まちづくりの戦略

都心臨海部の将来像



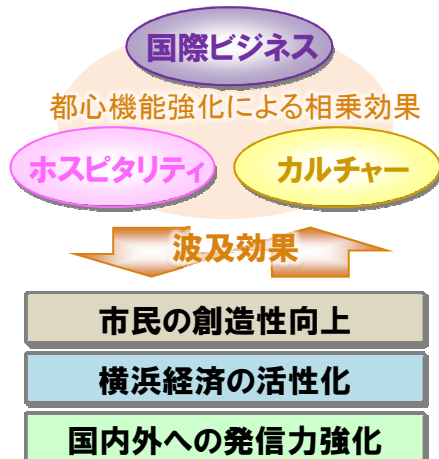
将来像の実現に向けたまちづくりの戦略

基本戦略1

横浜の活力となる都心機能の強化

横浜ならではの三つの都心機能の強化により、横浜発のイノベーションを創出する創造的産業の活性化を図り、横浜の活力となる都心を形成します。

<三つの都心機能強化のイメージ>

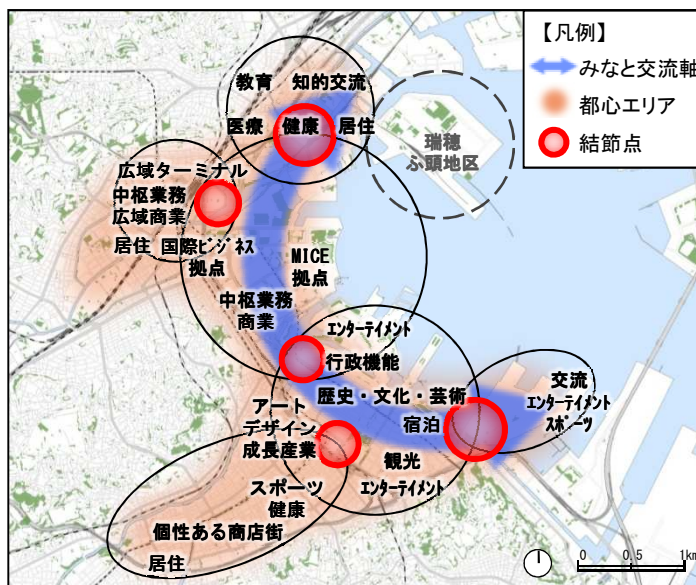


基本戦略2

みなと交流軸の形成と5地区連携によるまちづくり

各地区の個性を生かしたまちづくりや、都心臨海部5地区を繋ぎ合わせる「みなと交流軸」の形成により、人々を惹き付ける都心を形成します。

<都心臨海部の機能配置とみなと交流軸・結節点の配置イメージ>



3. 将来像を実現する五つの施策

施策

①

都心臨海部の魅力増幅

－世界中の人々を惹きつける拠点・空間の形成－

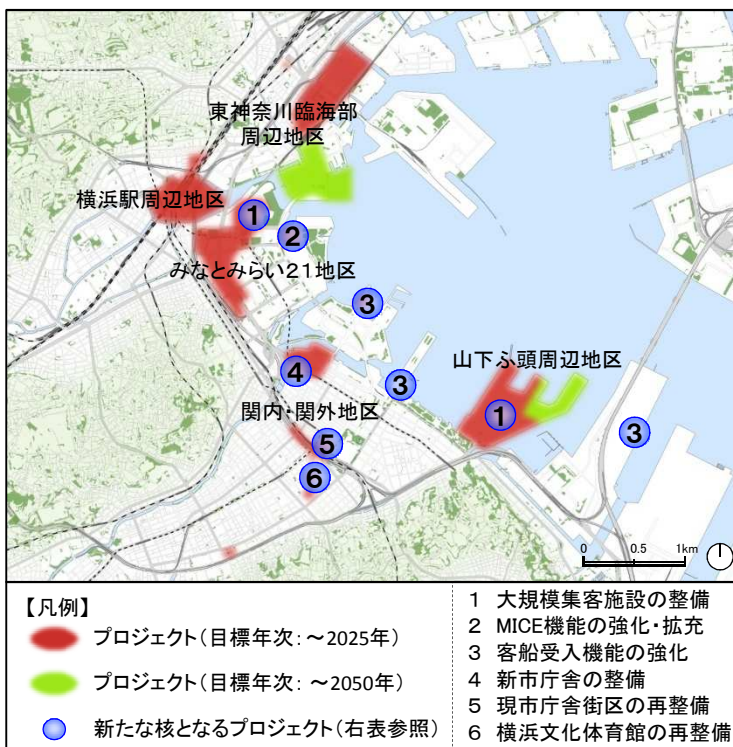
世界から様々な都市の担い手に選ばれる都市として、港や個性豊かな界隈等のまちの資源を生かしながら、創造性あふれる拠点・空間づくりを進めます。

また、取り組みにあたって、官民パートナーシップの活用や、IR(統合型リゾート)の導入などについて検討します。

■主な取り組み内容

- ビジネス・生活環境の整備
- パブリックスペース・水際線や、歴史的建造物の利活用
- 個性豊かな界隈の魅力向上
- 港を意識した都市デザインの促進
- 新たな核となるプロジェクトの推進

＜将来のプロジェクト配置＞



○大規模集客施設とIR(統合型リゾート)のイメージ

文化芸術系



商業系



スポーツ系



カジノ施設



※IR(統合型リゾート)とは、会議場施設及び展示施設、宿泊施設、カジノ施設、大規模集客施設、そのほかの観光振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設を指します。

○まちの資源を生かした拠点・空間イメージ

歴史的建造物の活用



港を意識したデザインによる空間づくり



地域全体の回遊性を高めるため、公共交通や歩行者を中心とした様々な交通体系を強化・拡充し、移動自体を楽しく感じられるネットワークづくりを進めます。

■主な取り組み内容

- 新たな交通の導入
- 道路・鉄道インフラ、水上交通ネットワークの強化・拡充
- 誰もが安心して楽しめる、歩行者ネットワークの強化・拡充
- 行動範囲を広げる交通手段の強化・拡充（パーソナルモビリティ等）
- 交通モードの乗り換え円滑化
- リニア中央新幹線近接駅や、羽田空港とのアクセス性向上

＜強化・拡充を図る主な交通インフラのネットワーク＞



○新たな交通の導入イメージ

LRT(次世代型路面電車システム)



連節バス



写真出典：公益社団法人日本交通計画協会

ロープウェイ



写真出典：公益社団法人日本交通計画協会

○幅広い交通手段による回遊性づくり

水上交通ネットワークの強化・拡充



パーソナルモビリティの強化・拡充



歩いて楽しいにぎわいある街並みの形成



都市と水際線が繋がる都市環境を生かし、世界の環境都市づくりのモデルケースとなるような、海を意識した水・緑・風の環境づくりや、最先端の環境負荷低減の取り組みを進めます。

■主な取り組み内容

- 横浜の風格を高める水と緑づくり
- 風の道・親水空間の整備
- 港内の水質浄化や生物多様性を高める取り組み
- 低炭素化・省エネルギー化の取り組み
- 先進的な環境技術の導入
- 市民の環境意識を高める取り組み

○横浜の風格を高める水と緑づくり

水際線の水と緑の景観づくり



四季を感じる多様な花々等による植栽



○低炭素化・省エネルギー化の取り組み

環境未来都市を先導するみなとみらい21地区



太陽光発電等の活用



都心臨海部に集まる多くの人々や企業が安心して活動できるよう、地震や津波等に対する更なる防災対応力の向上や、事業継続性を支える取り組みを進めます。

■主な取り組み内容

- 核となる施設整備と併せた防災拠点の形成
(帰宅困難者対策の推進等)
- 地域防災力の向上
(津波避難施設や避難経路の確保、耐震強化岸壁の配置、ライフラインの耐震強化等)
- 防災意識の啓蒙
- 横浜駅周辺地区・みなとみらい21地区における防災機能強化

<防災・減災に向けた取り組み>



人々に愛され・親しまれるまちを目指し、エリアマネジメント活動の強化・拡充に加え、市民が活動に参画しやすい仕組み・体制づくりに取り組みます。

また、外国人やアーティスト・クリエイターをはじめ、多様な人々が安心して楽しみながら暮らせるよう、様々な活動を通じたコミュニティづくりに取り組みます。

■主な取り組み内容

- 市民・事業者・行政が一体となったエリアマネジメント活動の推進
- 都心臨海部全体が一体となったシティ・セールス・プロモーションの体制づくり
- 都心臨海部ならではの活動で繋がるコミュニティづくり

○都心臨海部ならではの都市活動・コミュニティづくり

文化・芸術・スポーツ等の市民活動を促進



Photo by Yasuyuki Kasagi
写真出典：黄金町エリアマネジメントセンター



市民・事業者・行政が一体となったまちづくり活動



皆様からのアイデアを お待ちしております！

未来も輝き続ける横浜の実現に向け、市民の皆様からまちづくりのアイデアを広く募集します。右のハガキに、あなたが特に関心がある項目にチェックを入れ、ご意見・アイデアをご自由にお書きください。

例えば・・・

- こんなまちになるといいな♪
- 2050年の都心にはこれが必要!!
- こんな乗り物があったら便利だな♪
- 都心臨海部でこんな事がしてみたい!

(記載例)

- ☒ 将来像 ☐ まちづくりの戦略
☒ 五つの施策 施策 (5)

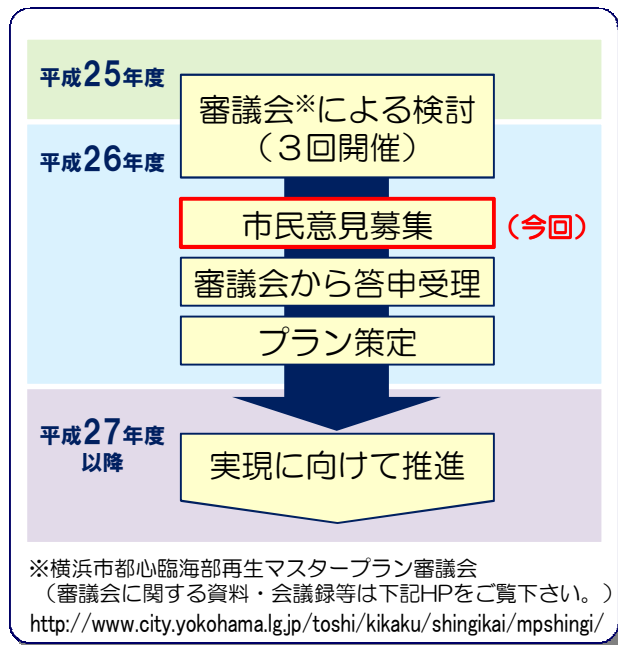
海の上の音楽ライブやスポーツ大会等、
水辺のイベントがもっとあるといい!

- ☐ 将来像 ☐ まちづくりの戦略
☐ 五つの施策 施策 ()

- ☐ 将来像 ☐ まちづくりの戦略
☐ 五つの施策 施策 ()

キリトリ線

これまでの検討経緯と今後のスケジュール



本編の閲覧方法

横浜市都心臨海部再生マスタープラン(仮称)の本編は都市整備局ホームページをご覧ください。



都心臨海部再生マスタープラン 検討

検索

ご意見の提出方法

次のいずれかの方法で提出して下さい。

①ハガキ(切手不要)

左下のハガキを切り取り、ご使用下さい。

②電子メール

tb-toshinrinkaibu@city.yokohama.jp

③ファクシミリ

045-664-4539

④郵送又は持参

横浜市都市整備局企画部企画課(市庁舎6階)
〒231-0017 横浜市中区港町1-1

ハガキ見本

ハガキ(切手不要)付きのパフレットは、下記の場所で配布しています。

- 都市整備局企画課(市庁舎6階)
- 市民情報センター(市庁舎1階)
- 区役所広報相談係
- 地区センター
- 図書館
- 行政サービスコーナー 等

■よろしければ、あなたの情報をご記入ください。

【氏 名】

【住 所】

【性 別】 ☐男 ☐女 【年 齢】 歳代

※ご記入いただいた内容については、意見募集の用途以外には使用いたしません。
また、個人情報あるいは個人が特定できるような情報は公表いたしません。

ご協力、誠にありがとうございました。

募集期間

平成26年8月5日(火)～9月5日(金)

※郵送の場合は9月5日(金)の当日消印有効

- お寄せいただいたご意見については、横浜市の考え方と併せてホームページで公表します。
- 「お電話でのご意見の受付」及び「ご意見への個別の回答」はいたしませんので、あらかじめご了承下さい。
- お寄せいただいた情報については、意見募集の用途以外には使用いたしません。

お問い合わせ先

横浜市都市整備局 企画部企画課
都心臨海部再生マスタープラン担当

TEL : 045-671-3954

FAX : 045-664-4539

Email : tb-toshinrinkaibu@city.yokohama.jp

URL : <http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/kikaku/toshinmp/>